

より軽量より安全な

# アルミ スカイガード

ユーザーニーズに応えた「安全性」・「超軽量化」・「美観性」

墜落労働災害防止に  
3つの効果

1

常に、枠組足場の組立・解体作業時に「手すり枠」があり、安全に作業をすることが出来ます。

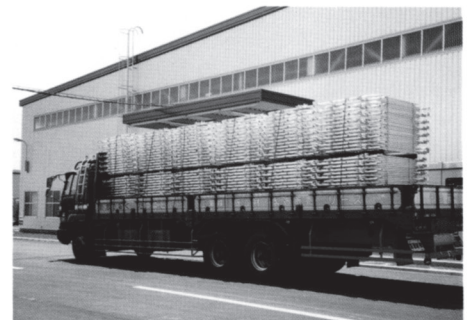
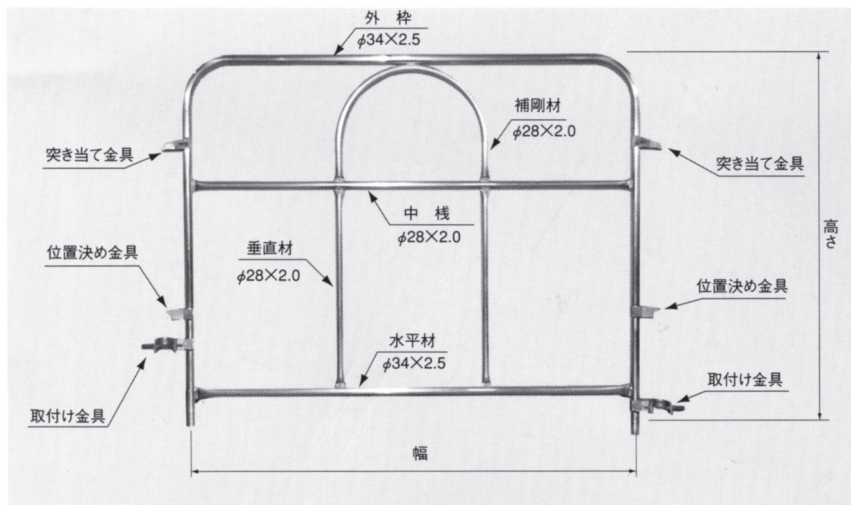
2

スカイガードには、中棧、2本のタテ棧があり、中腰作業での転倒などによる墜落を防止することが出来ます。

3

手すり枠は、手すりの高さが91cmあり、乗り越えなどによる墜落を防止することが出来ます。

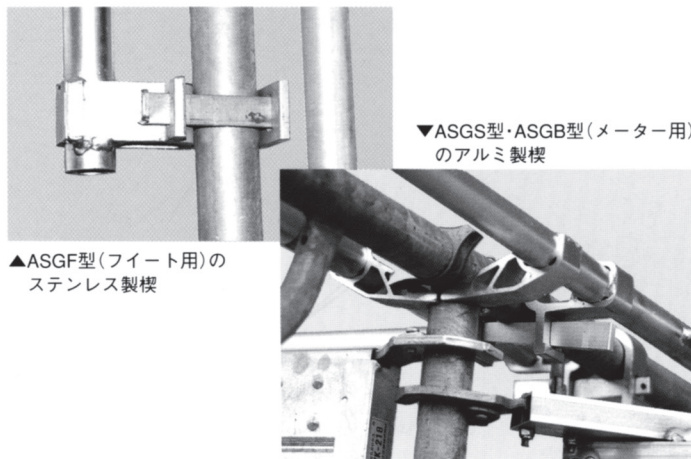
■スカイガード全般についての使用方法は取扱説明書を参照することをお願い致します。



■積載数量

|        |           |           |
|--------|-----------|-----------|
| トラック標準 | 240枚/4t平  | 180枚/4tu  |
| 積載量    | 360枚/11t平 | 300枚/11tu |

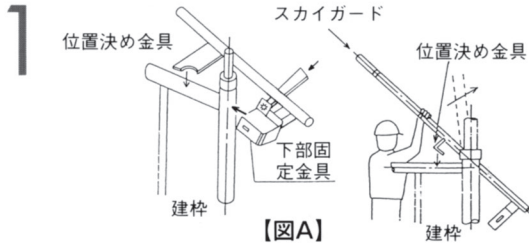
ASGS型はメーター用、ASGF型はフィート用です。  
(注) 型式の表示のASGS-18TNは建枠スパン1.8mに使用します。



■型式別主要寸法及び重量

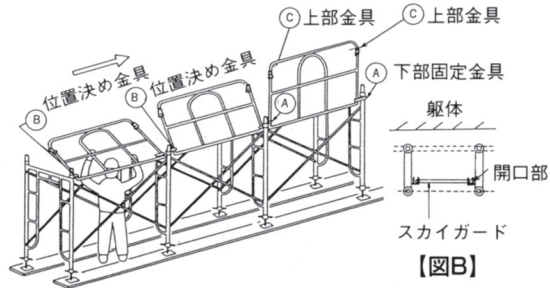
| 型 式        | 高さ(mm) | 幅(mm) | 重量(kgf) |
|------------|--------|-------|---------|
| ASGS-18TN  | 1307   | 1654  | 6.8     |
| ASGS-15TN  | 1337   | 1354  | 6.4     |
| ASGS-12TN  | 1337   | 1054  | 5.9     |
| ASGS- 9 TN | 1337   | 754   | 5.2     |
| ASGF-18T   | 1307   | 1683  | 7.0     |
| ASGF-15T   | 1307   | 1378  | 6.4     |
| ASGF-12T   | 1307   | 1073  | 6.0     |
| ASGF- 9 T  | 1307   | 768   | 5.3     |

## スカイガードの組立手順



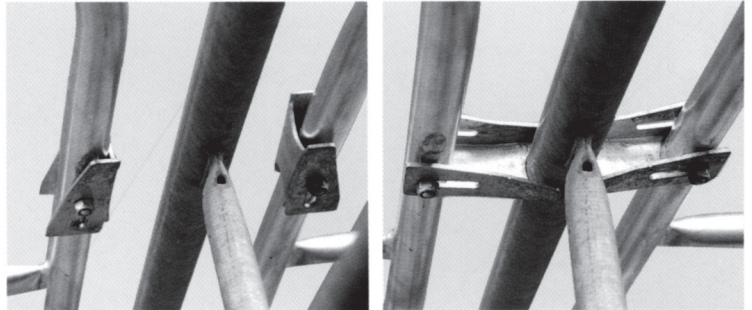
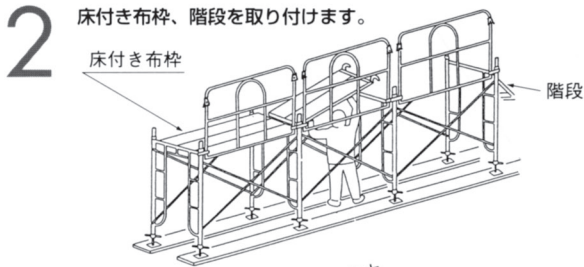
【図A】

スカイガードの位置決め金具をジョイントの方に寄せさらに立て起こします。この下部固定金具により足場の外側に絶対落ちない構造になっております。



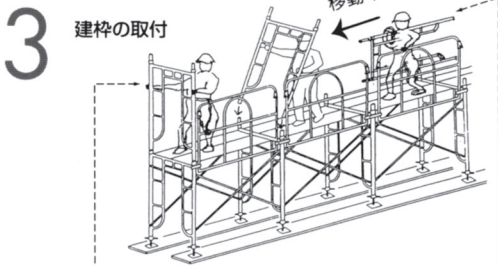
【図B】

スカイガードの仮置きは下部固定金具のU字形開口部をB図のように置きます。



▲建柱を取り付けた時に上部金具は垂直状態になっています。

▲上部金具を上へ引き上げ、建柱に水平に突きあてた状態。



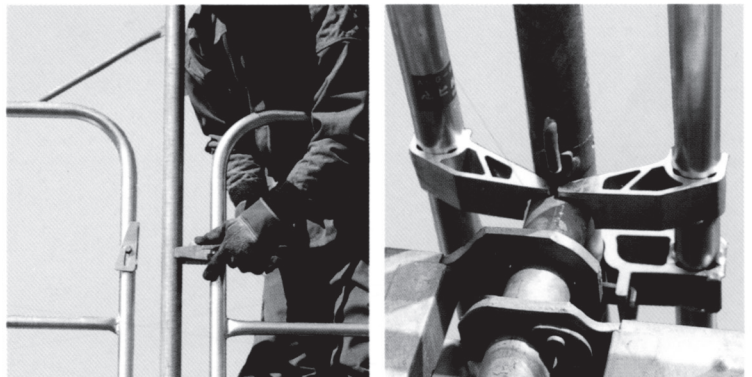
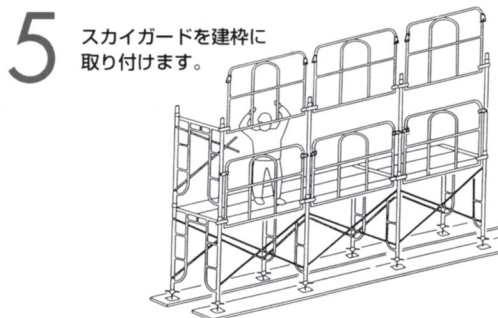
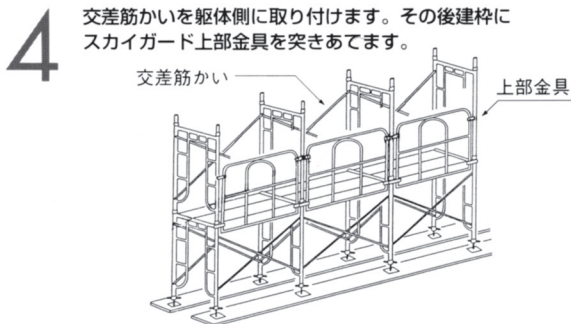
足場の両サイドの建柱を組み立てる場合には、スカイガードの手すりに安全帯を取り付けて作業をして下さい。

作業者が建柱又は交差筋かいを運搬するときには、必ず肩に担ぐか又は手に持ち、片手はスカイガードの手すりにつかまりながら作業床上を移動することを厳守して下さい。



▲建柱を肩に担つぎ、片手はスカイガードの手すりにつかまりながら移動中。

▲足場の先端部に建柱を取り付ける場合にはスカイガードの手すりに安全帯を取り付ける。



▲建柱に上部金具を突きあてます。

▲アームレスジョイントの建柱にも取り付けられます。